

令和7年度東京都立鹿本学園年間指導計画

部門・学部	肢体不自由教育部門 高等部		学 年	3 年
教科等名	日常生活の指導		学習グループ（教育課程）	A（自立）
ねらい	(知・技) 日常生活の諸活動を身につける。 (思・判・表) 見通しを持てる生活習慣を形成する。 (主) 自立的な生活を意識して活動に取り組む。			
担当教員	笠原陸 黒田夢乃 吉田暁洋 津田直子 飯田拓 荒谷秀幸 CG 笠倉美重子 CG 林英美 CG			
年間授業時数	189 単位時間			
使用教科書	なし			
月	単元（題材） 名	指導時 数	○主な学習内容、◆ねらい（評価の観 点）	指導の工夫
4	通年で個に応じた取り組みを行う	189	○排泄指導 ◆オムツ替えの際に協力動作をできるようになる。 ◆排泄リズムの確立を図る。 ◆各生徒が自身の状況に応じて排せつできる。 ○摂食指導 ◆安定した姿勢、呼吸状態で安全に水分の摂取や食事を行うことができるようになる。 ◆安全に食事を行う為に、給食前に身体の取り組みを行う。 ◆口唇の動かし方等、適切な食事に関する動作を身に付ける。 ◆注入を落ち着いて受けることができる。 ◆食後の衛生管理（歯磨き等）をしっかりと行い口腔衛生を保てるようになる。 ◆介助者による歯磨きを受け入れられるようになる。 ○係活動 ◆簡単な手伝いや仕事に関心をもつ。 ◆身の回りの簡単な手伝いや仕事を教師と一緒にしようとする。	・体調を十分に把握して日々の指導を行う。 ・外部専門家による摂食診断を適宜指導に反映させる。 ・個々の生徒の実態の変化に応じた取り組みを設定する。 ・衛生管理に十分留意する。
5				
6				
7				
9				
10				
11				
12				
1				
2				
3				

令和7年度東京都立鹿本学園年間指導計画

部門・学部	肢体不自由教育部門 高等部		学 年	3年
教科等名	国語・数学		学習グループ	A（自立主）
ねらい	<p>(知・技) 日常生活に必要な身近な言葉を身に付けるとともに、様々な言葉に触れることができるようにする。</p> <p>(思・判・表) 言葉が表す事柄を想像したり受け止めたりする力を養い、人との関わりの中で伝え合い、自分の思いをもつことができるようにする。</p> <p>(主) 言葉がもつ良さを感じるとともに読み聞かせに親しみ、言葉でやり取りを聞いたり伝えたりしようとする態度を養う。</p>			
担当教員	飯田拓 黒田夢乃 津田直子 吉田暁洋 大塚朋子 荒谷秀幸 CG 笠倉美重子 CG 林英美 CG			
年間授業時数	77 単位時間			
使用教科書	「五味太郎①動きの言葉」(偕成社)			
月	単元(題材)名	指導時数	○主な学習内容、◆ねらい(評価の観点)	指導の工夫
通年	呼名 身近な言葉 数量・形 個別学習 なぞり書き		<p>○呼名</p> <p>○動作の言葉、物の名前、運筆</p> <p>○スイッチ課題、プットイン課題、積み木</p> <p>◆言葉が事物の内容を表していることを感じる。自分なりの方法で表現する。</p> <p>○数字、数唱、大きい小さい、重い軽い。</p> <p>◆数、形、量を体験して知ることができる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・順番を固定し、見通しをもてるようにする。 ・できる限り具体物を用いて経験を深める。
4 ・ 5	物語や詩に親 しもう①	24	<p>○読み聞かせ 季節の言葉・物語、再現活動(劇)。</p> <p>◆言葉のリズムや響きを感じ、物語や詩を見たり聞いたり、教材に触れたりすることができる。</p> <p>○季節に関連した内容について見たり、聞いたり、教材に触れたりする。</p> <p>◆季節を十分に味わえるよう、季節感を味わえる事物を教材とする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の実態を考慮し、座席配置などに配慮する。 ・絵本やパネルシアター電子黒板などの教育機器を使用して、視覚・聴覚両面から物語を鑑賞できるようにする。
6				
7				
9	物語や詩に親 しもう②	18		
10				
11	古典(昔の物語)	12	<p>○読み聞かせと再現活動(劇)。</p> <p>◆対象に意識を向ける(見る・聞く)。</p> <p>◆言葉のリズムや響きを感じ、物語や詩を見たり聞いたりすることができる。</p>	
12				
1	墨で書く	4		<ul style="list-style-type: none"> ・書道用具は、グリップや大きさを工夫する。 ・再現活動では、絵本の内容と再現活動が一致しやすい教材を選ぶ。
2	物語や詩に親 しもう③	19	<p>○墨で描く。文字のなぞり書き。運筆。とめ、はらい、はねを意識して書ける。</p> <p>◆目的に合った筆記具を選び、書ける。</p> <p>○季節に関連した物語等を見たり、聞いたり、教材に触れたりする。</p> <p>◆劇の中で登場人物を演じ、友達とやり取りしたり、自分の意思を表現したりできる。</p>	
3				

令和7年度東京都立鹿本学園年間指導計画

部門・学部		肢体不自由教育部門 高等部		学 年		3 年	
教科等名		美術		学習グループ（教育課程）		A（自立）	
ねらい		（知・技）色や形の違いなど造形的な見方を知り、材料や用具を使って表す。 （思・判・表）色や形など造形的な良さや美しさを感じ取りながら、自分なりのイメージをもち、表現力を高める。 （主）美術の創造活動の楽しさや喜びを味わい、進んで活動に取り組む。					
担当教員		津田直子 笠原陸 吉田暁洋 大塚朋子 荒谷秀幸 CG 笠倉美重子 CG 林英美 CG 大森美恵 CG					
年間授業時数		76.5					
使用教科書		DO! 図鑑シリーズ工作図鑑（福音館書店）					
月	単元（題材）名	指導時数	○主な学習内容 ◆ねらい（評価の観点）			指導の工夫	
4	【絵画】 植物を描く	14	○絵の具を使い、植物の絵を描く。 ◆筆やスタンプを使ってできる表現を生かして表す。 ◆植物の色や形の良さや美しさを感じとる。 ◆植物や絵の具、用具に興味をもち、制作する。			・本物の植物を見るだけでなく、触れたり、匂いを嗅いだり、五感を使いながら興味をもたせる。	
5							
6	【立体造形】 生活を彩る色と形	15.5	○粘土を使って、生活で使える物を作る。 ◆粘土の形や色、感触の変化を確かめながら作る。 ◆作る物に興味をもち、作りたい形や模様、色を選ぶ。 ◆進んで粘土に触れたり、視線を向けたりしながら活動する。			・制作の前には身体の緊張をほぐす体操を取り入れ学習する姿勢を作る。 ・粘土の硬さや、用具の形を、生徒が扱いやすいように配慮する。	
7							
9	【共同制作】 虹輝祭を盛り上げよう	16	○舞台で使う装飾や背景、ポスターの制作 ◆道具や用具をもち、表現を生かす。 ◆作るものに適した色などを考えて制作する。 ◆集団で一つのものを作成する達成感を味わう。			・支援具や教材を工夫し、生徒が主体的に取り組めることを増やす。	
10							
11	【映像メディア】 動く模様	15.5	○デジタル機器を使い、線や形が動く映像を作る。 ◆デジタル機器で線や形を描くことに慣れ、形や色を選んで表す。 ◆映像に興味をもち、描いた線や形が動く面白さや美しさに気付く。 ◆進んで映像に視線を向けたり、手や腕をよく動かしたりして制作する。			・デジタル機器の位置や生徒の姿勢に配慮し、手や腕を動かしやすいようにする。 ・映像に興味をもてるよう、画面の配置や授業展開を工夫する。	
12							
1	【絵画】 刷って重ねて	15.5	○版を使い、刷り重ねて絵を作る。 ◆材料や用具によって現れる形が違うことに気付く。 ◆好きな色や使ってみたい材料や用具を選んで、制作をする。 ◆版を刷り重ねることで変化する形や色に興味をもち、進んで活動する。			・制作の前には身体の緊張をほぐす体操を取り入れ学習する姿勢を作る。	
2							
3							

令和7年度東京都立鹿本学園年間指導計画

部門・学部	肢体不自由教育部門・高等部		学 年	3年
教科等名	音 楽		学習グループ (教育課程)	A (自立)
ねらい	(知・技)音楽表現を楽しむために必要な技能を身に付けようとしている。 (思・判・表)音や音楽に気付きながら関心や興味をもって活動できる。 (主)音楽経験を生かして生活を楽しいものにしようとしている。			
担当教員	黒田夢乃 飯田拓 津田直子 吉田暁洋 長岡優花 大塚朋子 荒谷秀幸CG 笠倉美重子CG 林英美CG			
年間授業時数	79.5 単位時間			
使用教科書	みんなであたおう ニュー・スクール・ソング(ドレミ出版社)			
月	単元(題材)名	指導時数	○主な学習内容、◆ねらい(評価の観点)	指導の工夫
通年	はじまりとおわりの歌を歌おう 季節の歌にふれよう		○はじまりの歌・おわりの歌 (通年) ◆授業の始まりと終わりを意識する。 ◆教員と一緒に歌い、順番に楽器を鳴らしていく。 ◆動画を観ながら、歌と歌詞のイメージを膨らましていく。(雪、桜、紅葉など)	・毎時間繰り返し学習することで、自発的に楽器を鳴らし、発声を引き出す。
4	楽器を鳴らそう	27	○鑑賞 ◆歌や映像に興味をもって聴いたり、身体を揺らしてみたり、意欲的にいろいろな音楽活動を体験しようとする。	・映像を効果的に使い、個々の興味関心や集中力を引き出す。 ・活動を楽しむ中で、生徒からの発声を引き出す。 ・個々の生徒に合わせた使いやすい道具を用意する。
5			○器楽 ◆様々な楽器の音色を聴いたり、楽器を鳴らそうとしたりする。	
6			◆教員と一緒に楽器を鳴らしてみたり、自分なりの鳴らし方をしたりする。	
7				
9	楽器を鳴らそう 音楽に合わせて身体を動かそう	30	○器楽 ◆直接手や身体を使って鳴らし、補助具などを使用して自分自身で自発的に音を鳴らす。 ◆友達に注目したり意識を向けたりしようとする。 ◆集中して音を聴くことができる。気持ちを落ち着けて、音楽の響きを感じることができる。	・役割、順番交替場面や友達に注目される場面を設定する。 ・授業や友達の様子に注意を向ける働きかけを行う。
10			○ダンス 「しかもと音頭」 ◆曲のリズムに合わせて、教員と身体の部位を動かすことができる。	
11				
12				
1	リズムを楽しもう 手話歌をやってみよう	22.5	○器楽 ◆リズムを感じて教員と一緒に楽器を鳴らすことができる。 ◆簡単なリズムを意識して身体を動かす。 ◆楽器に触れ、その振動を感じ取りながら意欲的に鳴らす。 ◆教員の手の動きに注目して模倣ができる。	・個々の発達段階に応じて細かな課題を設定する。
2				
3				

令和7年度東京都立鹿本学園年間指導計画

部門・学部		肢体不自由教育部門 高等部		学 年		3 年	
教科等名		保健体育		学習グループ (教育課程)		A (自立)	
ねらい		(知・技) 健康の保持増進と体力の向上を図り、身体を動かす。 (思・判・表) 運動の楽しさや喜びを深く味わい、運動機能の維持、向上を目指す。 (主) 協力や責任などの態度を育て、簡単なゲームなどのルールを理解する。					
担当教員		笠原陸 黒田夢乃 吉田暁洋 津田直子 飯田拓 荒谷秀幸 CG 笠倉美重子 CG 林英美 CG					
年間授業時数		74.5 単位時間					
使用教科書		「こども体のしくみ絵辞典 小型本」(三省堂)					
月	単元 (題材) 名	指導時数	○主な学習内容、◆ねらい (評価の観点)			指導の工夫	
通年	準備体操 リトミック ヨガ		○身体ゆさぶり、身体のリラックス、教職員との触れ合い ◆身体をリラックスさせ、身体を動かす楽しさ、心地よさを感じる。			・ゆっくりと身体の動きを確認しながら行う。	
4	体育発表会に向けて 水泳指導	26.5	○課題走、ゲームなど ◆個々の課題を達成する。 ◆スタートの合図に応じて動作を開始し、自分なりの方法でレーンを進む。 ◆スタートとゴールを意識し完走する。			・個々に合わせて適切に設定する。	
5						・体重移動を感じられるようゆっくりと行う。	
6			○水慣れ、浮遊 ◆水中で身体の緊張を緩める。			・健康状態に合わせて活動時間を調整する。	
7							
9	水泳指導	28	○水慣れ、浮遊 ◆水中で身体の緊張を緩める。			・心地良さを感じられるようゆっくりと行う。	
10	デフリンピック		○デフリンピックについて ◆デフリンピックについての動画を鑑賞し、ユニバーサルスポーツを体験する。			・活動について事前に使う用具を見せたり大人がやって見せたりして、具体的に説明する。	
11	球技		○ボールを押し出す、転がす ◆ボールに働きかける。教員や友達と関わりながらスポーツの楽しさを知る。ゲームを通して目標物や友達の様子に視線を向ける。ゲームの楽しさを感じる。				
12							
1	武道	20	○武道 ◆道具に親しむ。雰囲気を感じ取る。いろいろな動きを経験する。			・活動について事前に使う用具を見せたり大人がやって見せたりして、具体的に説明する。	
2	まとめ		○1年間のまとめ ◆1年間の活動のまとめを行う。教員や友達と関わりながらスポーツの楽しさを知る。				
3							

令和7年度東京都立鹿本学園年間指導計画

部門・学部	肢体不自由教育部門 高等部		学 年	3年
教科等名	生活単元学習		学習グループ（教育課程）	3A（自立）
ねらい	(知・技) 季節や行事に合わせた物作りや体験をし、季節の移ろいや雰囲気を楽しむ。 (思・判・表) 活動を通して気持ちや要求を表現する。 (主)活動を通して、友達や教職員とのコミュニケーションを広げる。			
担当教員	笠原陸 黒田夢乃 吉田暁洋 津田直子 飯田拓 荒谷秀幸 CG 笠倉美重子 CG 林英美 CG			
年間授業時数	109単位時間			
使用教科書	ともだち（玉川大学出版部）			
月	単元（題材名）	指導時数	○主な学習内容、◆ねらい（評価の観点）	指導の工夫
4	カレンダーづくりをしよう（通年）	40	○2026年のカレンダー作り ◆四季を視覚や身体で感じる	・季節や実生活を意識した多様で豊かな経験ができるようにする。 ・素材に直接触れながら、スイッチや補助具も用いて、自ら進んで活動に取り組もうとする気持ちを引き出す。
5			○雨の季節を感じられる取り組みをする。 ◆雨の季節の歌や植物、生き物等に触れる。	
6			○図書室で本を選び、読み聞かせを行う。 ◆読み聞かせを通じて本に親しむ。 ◆感想や気持ちを発声等で表現する。	
7	図書室へ行こう		○虹輝祭の背景作りや発表練習	
9	虹輝祭の準備をしよう	39	◆期待感を膨らませ自分の出番を意識する。 ◆行事の後には発表の内容を振り返る時間を持ち、共に舞台を作り上げた気持ちを共有する。	・生徒の表情、発声、発語、言葉などを丁寧に聞き取り表出で応える過程を通して、コミュニケーション力を高める。 ・必要な身体介助をしながら、自分でできることを増やし、達成感を味わえるようにする。
10	季節を感じよう（ハロウィン、クリスマス、年賀状など）		○季節の行事を知り、体験する。 ◆季節の行事に興味・関心を持ち、自ら進んで活動に参加する。	
11	墨絵に親しもう。		○書道に親しむ。 ◆墨の匂いや体を大きく動かして描く感覚を味わう。	
12				
1	手作り入浴剤のお湯で温まろう。	30	○温浴活動（手湯、足湯）で身体を温める。 ◆自分たちで作った入浴剤の香りや、温かさなどを体感し気持ちを表出する。 ◆お湯に一定時間身体を浸すことに慣れる。	・安全管理に配慮して行う。 ・これまで積み重ねてきた学習の写真スライド等を用いて、卒業に向けて、学びを振り返りやすいようにする。
2	卒業の準備をしよう		○卒業単元の学習 卒業式練習・卒業制作・卒業文集づくり	
3			◆卒業に向けての準備・制作・式練習を通して卒業していく意識をもつ。	

令和7年度東京都立鹿本学園年間指導計画

部門・学部	肢体不自由教育部門 高等部		学 年	3 年
教科等名	特別活動・ホームルーム活動	学習グループ（教育課程）		
ねらい	<p>(知・技) 様々な集団行動を行う上で必要となることについて理解する。 (思・判・表) 様々な場面で自分と異なる考えにある多様な他者を尊重して認め合い支え合う。 (主) 自主的、実践的な集団活動を通して身に付けことを生かして自己実現を図ろうとする態度を養う。</p>			
担当教員	飯田拓 長岡優花 荒屋澄江 津田直子 吉田暁洋 黒田夢乃 笠原陸 荒谷秀幸 CG 笠倉美重子 CG 林英美 CG			
年間授業時数	40 単位時間			
使用教科書	なし			
月	単元（題材）名	指導時数	○主な学習内容、◆ねらい（評価の観点）	指導の工夫
4	高3年のスタート	4	○3年生の集団紹介、1年間の行事紹介、係り活動決め等 今年度の活動や友達・教職員を知り、新たに始まる学校生活を意識する。	・学年の友達との関わりを通し、豊かな人間関係を築けるような活動を設定する。 ・行事に合わせた活動を設定する。 ・活動内容を生徒が決める等、個々の自主性を引き出せるようにする。
5	体育発表会に向けて	6	○体育発表会に向けて練習や準備を行う。 ◆本番に備えて期待感を膨らませる。 ◆行事を振り返り成功体験を生徒間で共有する。	
6	レクリエーション活動	5	○ペーパー相撲等のレクリエーション ◆友達同士で協力して関わりを深める。	
7				
9	レクリエーション活動	3	○だるま落とし等のレクリエーション ◆友達同士で協力して活動することを通じて、関わりを深める。	
10	虹輝祭にむけて	10	○虹輝祭に向けて準備をする。 ◆舞台練習を通じて、皆で発表を作り上げる経験を積む。 ◆行事を振り返り成功体験を生徒間で共有する。	
11				
12	学期のまとめ	3	○2学期の学習活動、また個人の成長を振り返る。 ◆次学期につながる振り返りを行う。	
1	レクリエーション活動	2	○坊主めくり等のレクリエーション ◆友達同士で協力して関わりをさらに深める。	
2	卒業に向けて	7	○一年間の学習活動、また個人の成長を振り返る。 ◆学校生活を振り返ることで卒業後の生活に繋げる。	
3				

令和7年度東京都立鹿本学園年間指導計画

部門・学部	肢体不自由教育部門 高等部		学 年	3年
教科等名	自立活動		学習グループ(教育課程)	A(自立)
ねらい	<p>(知・技) 健康を保持し、基本的な生活習慣を形成し、元気に学習を続けることのできる基礎的体力をつける。(健康の保持)</p> <p>(知・技) 身体のリラクゼーションや運動・動作を通じて体の変形、障害の進行を防止する。(健康の保持、身体の動き)</p> <p>(思・判・表) 教員との一対一のかかわりを深める中で、心理的安定を図り、コミュニケーション能力を高める。(情緒の安定、コミュニケーション)</p> <p>(主) 身辺処理に関する動作や学習のための動作を身に付ける。(身体の動き)</p>			
担当教員	福永映子 小泉虹華 笠原陸 飯田拓 黒田夢乃 津田直子 吉田暁洋 大塚朋子 荒谷秀幸 CG 笠倉美重子 CG 林英美 CG			
年間授業時数	447単位時間			
使用教科書	なし			
月	単元(題材)名	指導時数	○主な学習内容◆ねらい(評価の観点)	指導の工夫
4	通年	447	<ul style="list-style-type: none"> ○ 衣服の調節 ◆ 衣服の着脱等の身支度を、生徒の実態に応じて行う。 ○ 水分補給 ◆ 適切な水分を摂取する方法を身に付ける。 ○ リラクゼーションや筋緊張の緩和 ◆ 姿勢変換や身体ストレッチを通して、緊張を緩和し関節の変形や拘縮の予防を図る。 ○ 排痰の取り組み ◆ 加湿等を実施し、うつ伏せ位等の姿勢をとることで、痰の排出を促す。 ○ 歩行(介助歩行) ◆ 適切な歩行方法を身に付け、筋力の向上を図る。 ○ 立位(立位台等の利用) ◆ 姿勢を保持する力を身に付け、筋力の向上を図る。 ○ 教具等の操作練習 ◆ 手指の操作性や目と手の協応性を高める。 ○ コミュニケーション能力の向上(個別課題、読み聞かせ等) ◆ 個に応じたコミュニケーション手段の確立を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の体調を、十分に把握して、日々の指導を行う。 ・必要に応じて、検温や聴診など保健室と連携して、丁寧に健康観察を行う。 ・季節によって、加湿器等を使用して取り組む。 ・生徒の実態に応じて、課題を段階的に設定する。 ・生徒の興味をもてるような題材を設定し、教材を工夫する。
5	個に応じた課題の取り組み			
6	健康の保持			
7	身辺処理			
8	からだの取り組み			
9	コミュニケーション			
10	個別課題(通年)			
11				
12				
1				
2				
3				